

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2019-14750 (P2019-14750A)

【公開日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2018-198260 (P2018-198260)

【国際特許分類】

C 07 C 51/44 (2006.01)

C 07 C 57/07 (2006.01)

C 07 C 51/21 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/44

C 07 C 57/07

C 07 C 51/21

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 2 日 (2019.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロパン、プロピレン又はアクロレインを原料とする気相接触酸化反応により得られたアクリル酸をスチームエジェクタにより減圧蒸留する工程を含むアクリル酸の製造方法であって、

該減圧蒸留工程が、該スチームエジェクタの吸引口の外面、真空部の外面、及びディフューザーの外面を加熱する工程を含む、アクリル酸の製造方法。

【請求項 2】

前記スチームエジェクタの前記各外面をスチームトレースを用いて加熱する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記スチームエジェクタの前記各外面を電熱ヒーターを用いて加熱する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記スチームエジェクタの前記各外面を 50 以上に加熱する、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記スチームエジェクタが多段である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記スチームエジェクタの下流に液封式の真空ポンプが配置される、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

スチームエジェクタを用いた易重合性化合物の減圧蒸留の方法であって、該スチームエジェクタの吸引口の外面、真空部の外面、及びディフューザーの外面を加熱する工程を含む、方法。

【請求項 8】

前記易重合性化合物がアクリル酸又はアクリル酸エステルである、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記易重合性化合物が、プロパン、プロピレン又はアクロレインを原料とする気相接触酸化反応により得られたアクリル酸である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記スチームエジェクタの前記各外面をスチームトレースを用いて加熱する、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記スチームエジェクタの前記各外面を電熱ヒーターを用いて加熱する、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記スチームエジェクタの前記各外面を 50 以上に加熱する、請求項 7 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

前記スチームエジェクタが多段である、請求項 7 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

前記スチームエジェクタの下流に液封式の真空ポンプが配置される、請求項 7 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の方法。